

石田 やすひろ

宮前ガバナンス・市政報告



つなぐれ、ミライのまちへ 宮前区政40周年



宮前区は、昭和57年7月に誕生しました。行政区再編成により、高津区から分区されました。令和4年を迎え、今年で40年の節目を迎えます。

私が子どもの頃の自宅住所は、まだ高津区でした。当時、自宅前の市道は舗装もされておらず、砂利道にある水溜りを避けて登下校していました。近所では、防空壕が点在していました。今ではその市道は舗装され、防空壕は擁壁で隠れています。子どもの頃の記憶は、遠い過去のものとなりました。この40年間、宮前区の街は大きく変わりました。

宮前区の発展は、交通網の整備と共にありました。分區前の昭和41年に東急田園都市線が開通し、都心と直通でつながりました。昭和44年には、東名高速道路が全面開通し、川崎インターチェンジを中心にモーターゼーションは進みました。森林で覆われた丘は、土地区画整理事業等により造成され、宅地化を促進しました。昭和57年の宮前区の人口は14万8人余でした。現在の宮前区の人口は、23万4千人を超えました。この40

間で約1.5倍に増えました。将来人口推計では、令和17年をピークに、24万3千人まで増加する見込みです。

令和4年度は、宮前区政40周年を祝うイベント事業が目白押しです。キャッチフレーズは「つなぐれ、ミライのまちへ」です。令和4年7月1日の記念式典を中心に、区内で様々なイベントを予定しています。恒例の「響け！みやまえ太鼓ミーティング」「農家巡りウォーキング」は、40周年にちなんだ企画を検討しています。区政40周年冠事業として「しあわせを呼ぶコンサート」は、9月に開催予定です。「みやまえ子育てフェスタ」は10月に開催予定です。

「宮前ふるさとアーカイブ事業」では、昭和57年前後の街の風景を記録した写真を、区民より募集しています。ご提供頂いた写真は、宮前図書館とコラボして、秋に展示会を予定しています。区のホームページからも紹介して予定です。冒頭、私の登下校時に見た懐かしい「ふるさと風景」を、写真を通じて見れる事を期待しています。

イベントの詳細は、宮前区ホームページより確認できます。スケジュール等の情報は、日々更新されています。区民の協働により、40年の誕生を、盛り上げていきたいです。

プロフィール

現在6期、元川崎市議会議員、市立犬蔵中学校卒業、明治大学公共政策大学院卒業、現在、川崎市議会スポーツ振興議員連盟会長、川崎の都市農業を推進する会会長

ホームページ



意見・政治に関するお問い合わせは「石田やすひろホームページ」から！

ishidayasuhiro.com



で検索

政務活動事務所

石田やすひろ事務所
〒216-0035
住所 川崎市宮前区馬絹6-24-26
TEL 044-861-6870
FAX 044-854-0798
mail: miyamae@ishidayasuhiro.com

土橋保育園を改修！

宮前区保育・子育て総合支援センターを整備へ！

安心して子育て出来る、
宮前区の街づくりを目指して！

川崎市総合計画第3期実施計画の宮前区計画によると、区内の0から14歳の人口の割合は、13.7%（令和2年国勢調査）と、市内7区の中で最も高くなっています。「夫婦と子」のみからなる世帯の比率は、32.5%（同調査）で、7区で最も高くなっています。

データからも解るように、核家族の比率は高く、子育て支援を求める声は多い地域だと言えます。子育ては、子どもの成長と共に、求められるメニューも異なります。適切なタイミングで適切な支援を提供するためには、それなりの支援体制が必要となります。

本市では、すべての子育て世帯に対応した、支援拠点の整備を進めてきました。その1つとして、土橋保育園を改修して機能強化を図ります。



老朽化した施設から（仮称）「宮前区保育・子育て総合支援センター」に改築します。令和5年秋ごろの開設を目指して整備を進めていきます。完成すれば、市内3箇所目となる保育と子育ての一体的な事業拠点となります。

る保育と子育ての一体的な事業拠点となります。

保育・子育て総合支援センターでは、民間保育所等への支援や人材育成、保育所、幼稚園、小学校、区役所など関係機関との連携・連絡調整を図ります。

また、併設する地域子育て支援センターでは、親子が安心して遊べるスペースがあり、保護者のリフレッシュの場としてだけでなく、子育てに困ったときの相談ができると共に、同世代のお子さんを持つ保護者同士の交流の場となり、「保育・子育て支援拠点」の役割を担います。

宮前区内には、既存の子育て支援施設は、複数あります。地域子育て支援センター（すがお、さぎぬま、花の台、ペジブル、たつのこのこ、たいら、みやざき、のがわ）は、8箇所あります。

0歳から就学前の子どもと保護者が交流する場を提供しています。子育てをサポートする専任のスタッフにより、あらゆる相談に対応しています。親子とふれあう遊びの場は、子どもの声でいつも賑わっています。また、地域の子育てに関する情報の発信や講座を開催しています。いずれも無料（一部の講座については実費負担あり）で利用できます。区内にバランスよく配置されているため、身近に利用できます。

区内の坂道では、子どもを乗せた電動自転車やベビーカーを押す親子の風景をよく目にします。子育て世帯の多い街ならではの特徴と言えます。いよいよ、来

建築概要

工事内容	土橋保育園を宮前区保育・子育て総合支援センターに改築
工事場所	川崎市宮前区土橋2丁目14番地1
地域地区	第一種中高層住居専用地域 準防火地域 第2種高度地区
敷地面積	1600.23㎡
建築物用途	保育所・児童福祉施設
建築面積	666.87㎡
延べ面積	1735.14㎡
構造・規模	鉄骨造3階建て
建物の高さ	14.69m

年の秋、土橋に（仮称）「宮前区保育・子育て総合支援センター」が開設され、本市の目指す「切れ目のない細やかな支援」を提供します。宮前区に引越して来られた子育て世帯には、頼れる施設となります。子どもの成長と共に、求められる必要なサービスは変化します。

発信される情報は、子どもの成長を後押しします。本市

の施策は、地域全体で子どもや子育て家庭を見守り、支え、誰一人取り残さない支援体制づくりに取組み「良好な子育て環境」を創設します。

